

岩田国夫

Iwata Kunio

県政詳報

Prefectural administration detailed information

みなさまと共に安全で安心できるまちづくり

【21世紀】

2024年 新年号



[発行所] 岩田国夫後援会

〒632-0033 奈良県天理市勾田町253-6
TEL.0743-63-6220 FAX.0743-63-6628

新年明けましておめでとうございます。天理市民の皆様におかれましては、健やかに令和6年の輝かしい新春をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は皆様に格別のご支援、ご指導を賜り、深く御礼申しあげます。

さて昨年は統一地方選知事選、県議選が実施されました。多くの皆様のご支援をいただきまして、重ねて御礼申し上げましたこと、重ねて御礼申し上げます。大きな転換期になつた知事選の結果を受け、県政は日まるしく変化しています。多くの事業の見直しが行われており、県民の皆様の視点を県政に届け、監視する県議会の役割はますます高まっていると言えます。こんな中、昨年5月には3度目になる議長にご推举いただきました。これまでにも、県民の皆様に開かれ、身近に感じていただける県議会を目指してきました。

奈良県議会議員 岩田国夫

岩田国夫

対する信頼向上に努めてまいります。

会改革推進会議を中心にして議論を重ね、さまざまな端末で議会中継をご覧いただけるようにしたり、政務活動費の領収証の公開など、公平公正な県議会に取り組んできました。今後も政治に

新年あけましておめでとうございます。旧年中は岩田国夫の県議会活動、また政治活動に対し格別のご高配を賜り、深く感謝申し上げます。また、昨年は統一地方選県議選が実施され、皆様のお力添えをいただき、重ねて御礼申し上げます。

激動の県政の一翼を担う議会で、岩田は3度目の議長に就任させていただき、県民の皆様のご意見やご要望、ご期待に応えるべく、日々精進しているところです。

「常日頃から本人が口にしている「安全で安心できる街づくり」の実現のため、後援会が一丸となつて県民の皆様の声なき声にも耳を傾け、本人の「着眼大局、着手小局」の活動を支えていく所存です。旧年に倍しまして、ご支援、ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

岩田国夫後援会会長

松原敬治



年頭所感

奈良市川上町の三笠靈苑

奈良市で参院選挙中の街頭演説の最中、銃弾に倒れた安倍晋三元総理を弔うため、自民党県連の有志らで作る団体は昨年7月、奈良市川上町の三笠靈苑に私費で慰靈碑を建立しました。県衆院2区選出で経済安全保障担当大臣の高市早苗衆院議員や県議、市議らが参列しました。



自民党県連有志らの私費で

安倍元総理の慰靈碑建立

自民党県連有志らの私費で

安倍元総理の慰靈碑建立



一昨年に引き続き、議長就任 国、県、市のパイプさらに密に

自民党系会派が15年ぶりに一本化され、16選挙区の代表43人が決まりました。私は天理市選挙区で7期目の無投票当選をさせていただきました。その後開かれた5月臨時議会では自民党系会派が15年ぶりに一本化して「自由民主党・無所属の会」を22人で結成しました。

役員改選では、自由民主党・無所属の会の皆様のご推举を受け、一昨年に引き続き県議会議長の大役をお受けすることになり、第1

04代議長に就任しました。このためには、地元天理市のお声をしっかりとお聞きとともに、国政与党の一員として国、県市のパイプをさらに密にしてまいります。

県議会が4月に改選され、16選挙区の代表43人が決まりました。私は天理市選挙区で7期目の無投票当選をさせていただきました。その後開かれた5月臨時議会では自民党系会派が15年ぶりに一本化して「自由民主党・無所属の会」を22人で結成しました。

新たな知事が就任され、大きな転換になつた県政は、財政難や大型事業の見直し、東部南部の振興、防災力の強化など、課題が山積しています。選択と集中、公平公正な観点で県議会を運営し、奈良の発展に尽力していく所存です。

自民党系会派が 15年ぶりに一本化

令和5年度の岩田国夫の議長公務、県議活動を県民の皆様にご報告いたします。

議長公務、県議活動報告

令和5年10月

▼東アジア地方政府会合

2010年の平城遷都1300年を契機に、奈良県が中心になって提唱した国際会議「東アジア地方政府会合」が10月25日から27日の期間、山

東省臨沂市(りんぎし)で開催され、山下真知事と共に県を代表して出席しました。会合には5カ国56地方政府から約300人の参加がありました。



国内外視察・研修の成果を県政へ

また来年に開催される大阪・関西万博のプロモーションも行いました。県内の経済団体も同行し、中国のモデル企業に選出された物流企業の視察や意見交換も行いました。今回の参加国と地域は、包括的経済連携(RCEP)協定の中、地域間の交流や協力の体制をさらに密にして、東アジアから新たな市場を掘り起こしていこうことを確認しました。

会合で奈良県は、県内の企業や産業への積極的な投資や企業誘致を働きかけたほか、中国や韓国との歴史的つながり、ストーリーを紹介した上で県内の観光地をPRしました。

令和5年9月

▼2023大百済典

奈良県と友好提携を締結している韓国・忠清南道（チュンチヨンナムド）で9月に開催された「2023大百済典」に県を代表して山下知事らと訪問し、奈良県は2025大阪・関西万博のPRブースを出展しました。

百済の都が置かれた韓国の忠清南道公州市と扶余郡一帯で毎年開催されている歴史再現型の祭り「百済文化祭」は、今回からよりグローバル化を図り、世界的な祭りとして発展させるため「2023大百



令和5年8月

▼紀伊半島3県議会交流会

奈良県、和歌山県、三重県の紀伊半島3県の県議会で組織する「紀伊半島三県議会交流会議」が8月、和歌山県和歌山市で開催され、3県の計19人が出席しました。観光や

林業、道路整備などについて相互に協力し、振興を図ることで合意しました。

会議では世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を核とした周遊観光の仕掛けづくりや国内外の誘客に向けた観光キャンペーンの必要性について

清南道知事が山下知事を表敬するため来県した際、同祭への招待を受けたものです。

同祭の開催期間中は、環黄海圏域（韓国、中国、日本）に位置する地方政府の共同繁栄と共生に向けた論議の場とし

て「環黄海フォーラム」も開催され、この開幕式にも出席しました。「海洋文化観光の大転換、環黄海がつなげていく」をテーマに国や地域の枠組みを超えて観光の振興に取り組んでいく議論を重ねました。



令和5年6月

▼新十津川町（式典、追悼式、視察）

意見交換がされました。また今年熊野古道世界遺産登録20周年を契機とした新たなファンの獲得や3県の周遊などについても意見交換。観光業界への支援と紀伊半島の観光振

興や林業の振興を図つていくため「紀伊半島一周道路」の整備をはじめとする、インフラ整備を国に求めることを3県で合意しました。

興に寄与する「半島振興法」の期限の延長を国に求めていることで合意しました。また、林業従事者の減少や高齢化などにより、新規就業者の確保、育成の課題が生じていると各県から報告があり、アカデミーの開校や人材育成、都市部の就業希望者を対象にした説明会開催をはじめ、解決策について議論しました。



令和5年9月

▼リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会

百済の都が置かれた韓国の忠清南道公州市と扶余郡一帯で毎年開催されている歴史再現型の祭り「百済文化祭」は、今回からよりグローバル化を図り、世界的な祭りとして発展させるため「2023大百

奈良県と県内の市町村（39市町村）で組織する「リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会」の総会が9月、奈良市内で開かれ出席しました。

総会では、県内の工区を含む名古屋より西の早期着工を目指すことを決議しました。

リニアは、県内に中間駅の設置が計画されており、県は「奈良市付近」とするJR平城山駅▼JR線と近鉄線が交差

式典では、十津川郷から北海道へ移住し、道内で有数の穀倉地へと発展させた開拓先人たちの苦労と、その功績に感謝と敬意を表し、献花を行いました。

百済の都が置かれた韓国の忠清南道公州市と扶余郡一帯で毎年開催されている歴史再現型の祭り「百済文化祭」は、今回からよりグローバル化を図り、世界的な祭りとして発展させるため「2023大百

奈良県と県内の市町村（39市町村）で組織する「リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会」の総会が9月、奈良市内で開かれ出席しました。

総会では、県内の工区を含む名古屋より西の早期着

令和5年11月

▼県外調査（福岡県、佐賀県、熊本県）

全国で多発する大雨やゲリラ豪雨を受けて所属する県議会の建設委員会では11月、豪雨災害に見舞われた九州の福

岡県、佐賀県、熊本県の3県を訪れ、県外調査を行いました。熊本県では「防災体制について」、佐賀県では「令和

5年7月の大暴雨による被害状況について」と「SAGAアリーナ視察」、熊本県では「広域防災拠点整備と河川対策について」をテーマに現地を視察し、意見、提言を交換しました。

令和5年11月

▼都道府県議会議員研究交流大会

都道府県議会で共通する政策課題についての情報や意見の交換を行う「都道府県議会議員研究交流大会」が11月、

東京都千代田区で開催され、県議会を代表して出席しました。

令和5年11月

▼地方議会活性化シンポジウム

大会では、毎日新聞社客員編集委員の与良正男氏が「今こそ主権者教育を」と題した基調講演を行ったほか、「主権者教育の推進」をテーマに

した分科会では奈良県議会の池田慎久副議長がパネリストとして登壇しました。

またこの前日には、若年層や女性をはじめ、幅広い世代に議会への関心を持つていただきことを目的に総務省が主催した「地方議会活性化シンポジウム」が東京都千代田区で開催され、これに出席しました。

シンポジウムでは、慶應義塾大学大学院システムでアイ

の谷口尚子氏の基調講演のほか、「将来の地方議会を担うのは誰か?—多用な人材が参画する地方議会の現実—」と題したパネルディスカッションがあり、地方議会が抱える問題、課題について意見交換を行いました。

令和5年度予算

- ▶令和5年度当初予算 5329億1900万円
- ▶6月の補正予算 148億1770万4000円
- 主な内容 物価・エネルギー価格高騰対策 51億4764万円
防災・減災対策の加速等 62億1192万6000円
新型コロナウイルス感染症への対応 30億200万円
- ▶9月の補正予算 57億9399万円
- 主な内容 災害への対応 45億5360万円
物価・エネルギー価格高騰対策 3億2537万2000円
県庁の働き方・職場環境の改革の推進 5200万円
- ▶12月の補正予算 207億3634万2000円
- 主な内容 物価高への緊急対策 23億879万円
防災・減災、国土強靭化の推進 136億3399万円
給与改定への対応 22億9981万5000円

補正後予算総額

5742億75,62万3000円
(当初予算比 7.8%増)

後援会ご案内

後援会のご入会と、皆さま方からのご意見ご要望をお待ちいたしております。ご支援の輪を広げるご協力をお願いいたします。

TEL:0743(63)6220、FAX:0743(63)6628
<http://iwata-kunio.com>

